

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体・気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
		生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体・気象台等公表資料の抜粋)		
北海道	(生育)	(8月1日現在)	(全道) 生育は平年並に進んでいる。(北海道農政課 8月6日付)	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、オホーツク海側と太平洋側で平年並の見込み。日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。  (農林水産省 令和6年7月12日) (出典資料は以下同じ)
		(空知) 生育は平年並みである。(北海道空知総合振興局 8月6日付) (石狩) 生育はやや早まっている。(北海道石狩振興局 8月6日付) (根室) 作物の生育は平年並みから平年より早く進んでいる。(北海道根室振興局 8月6日付) (日高) 気温が高く推移し、生育は平年より早く進んでいる。(北海道日高振興局 8月6日付) (渡島) 気温が高く、生育はやや早い。(北海道渡島総合振興局 8月6日付) (伊達) 生育は早く推移。(北海道伊達山形振興局 8月6日付) (上川) 生育は平年並に推移している。(北海道上川総合振興局 8月6日付) (室蘭) 生育は平年並に進んでいる。(北海道室蘭振興局 8月6日付) (オホーツク) 生育は平年並みである。(北海道オホーツク総合振興局 8月6日付)			
青森	(生育)	【生育観測ほの穂状況】	・「まっしぐら」の出穂期は7月28日で平年より5日早く、このうち県南地域だけで見ると1週間以上早い。	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「まっしぐら」を中心とする品種構成となっている。「青天の霹靂」「はれたたり」が増加傾向となっている。
		(青森県 8月9日付)			
岩手	(生育)	(8月8日現在)	【水稲の出穂状況 (県内農業改良普及センターによる一斉調査)】	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「霞河のすずり」が、耐病性・耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
		(岩手県 8月9日付)	・県全体の出穂割合は98% (平年並+5ポイント) となっており、平年よりも4日早く出穂時期(90%)に達したとみられる。 ・県内の水稲の出穂盛期(50%)は平年より3日早い8月1日頃となった。		
宮城	(生育)	(8月8日現在) 【水稲の出穂状況】	・水稲作付見込面積の98.2%の水田が出穂期に達している。県全体の穂揃期は、8月5日で平年より4日早い。(宮城県 8月9日付)	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
		(生育)	【移植地】全県の生育観測(湛水)「あきたこまち」 ・全県の生育観測は、草丈64.5cm(平年比114%)、m当たり実数601本(同92%)、実数11.1葉(平年並+1.0葉)、実数計値42.5(平年比105%)であった。平年に比べ、草丈は長く、実数は少なく、実数は多くなっている。		
秋田	(生育)	(7月16日現在)	【移植地】定点調査地の生育観測 ・全地域観測による調査では、「あきたこまち」(8地)は、草丈70.1cm(平年比110%)、m当たり実数511本(同90%)、実数11.9葉(平年並+0.8葉)、実数計値43.3(平年比103%)であった。平年に比べ、草丈は長く、実数は多く、実数計値はやや高い。実数は東北と県南はやや少なく、中央はかり多く、地域間差がみられた。 ・「ひとめぼれ」(8地)は、草丈70.5cm(平年比110%)、m当たり実数561本(同99%)、実数11.7葉(平年並+0.5葉)、実数計値37.2(平年比98%)となっている。平年に比べ、草丈は長く、実数は少なく、実数は多くなっている。	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		(秋田県 7月19日付)	【移植地】全県の生育観測(湛水)「あきたこまち」 ・全県の生育観測は、草丈64.5cm(平年比114%)、m当たり実数601本(同92%)、実数11.1葉(平年並+1.0葉)、実数計値42.5(平年比105%)であった。平年に比べ、草丈は長く、実数は少なく、実数は多くなっている。		
山形	(生育)	【生育状況】農業総合センターにおける「はえぬぎ」の出穂期は、山形市のみが7月30日(平年比-3日)、鶴岡市鶴岡町が7月30日(平年比-1日)となり、平年より早く進んでいる。(山形県 8月2日付)	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬぎ」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い品種「雪華丸」は増加傾向にある。	
		(東村山) 管内の出穂は、平田部「はえぬぎ」「雪華丸」が8月3日頃、「つや姫」8月8日頃と平年よりやや早く進んでいる。(山形県山形総合支庁農業技術普及課 8月9日付)			
福島	(生育)	(8月6日現在) 【農業総合センターの作柄解析試験における生育観測】	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い品種「雪華丸」が定着している。	
		・農業総合センターの生育調査における「ひとめぼれ」の出穂期は、本部(郡山市)が7月30日で平年より4日早く、会津地域研究所(会津坂下町)が7月30日で平年並、会津地域研究所(飯沼町)が7月30日で平年より4日早く進んでいる。 ・なお、会津地域でも田植えが早いところでは出穂が早まっている。(福島県農業水産部農業振興課 8月6日付)			
茨城	(生育)	【水戸市】(7月29日現在) (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 8月2日付)	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い品種「雪華丸」の作付けが行われている。	
		・出穂期は「あきたこまち」が平年より4日早い7月11日、「ふくまるS」が平年より6日早い7月12日、「コシヒカリ」が平年より5日早い7月22日だった。 ・今後気温が平年並に推移した場合、登熟算気温による成熟期の予測は、「あきたこまち」で平年より4日早い8月16日、「ふくまるS」で6日早い8月17日、「コシヒカリ」で5日早い8月20日である。			
栃木	(生育)	(5月10日移種)	【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。(気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「たちぎの星」が増加傾向にある。	
		・出穂期は、平年より5日早い7月26日だった。登熟算気温による成熟期の予測は、平年より5日早い8月3日である。			
茨城	(生育)	【前ヶ崎町】(8月9日現在) (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月9日付)	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「たちぎの星」が増加傾向にある。	
		・出穂期は「あきたこまち」で平年より7日早い7月6日、「ふくまるS」で平年より7日早い7月9日、「コシヒカリ」で8日早い7月16日だった。 ・今後気温が平年並に推移した場合、登熟算気温による成熟期の予測は、「あきたこまち」で平年より7日早い8月14日、「ふくまるS」で7日早い8月17日、「コシヒカリ」で7日早い8月24日である。			
栃木	(生育)	(5月8日移種)	【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。(気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「たちぎの星」が増加傾向にある。	
		・出穂期は、「コシヒカリ」で平年より3日早い7月25日だった。 ・今後気温が平年並に推移した場合、登熟算気温による成熟期の予測は、平年より3日早い8月4日である。			
栃木	(生育)	(生育観測) (7月19日調査) (栃木県農政総務課 7月26日付)	【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「たちぎの星」が増加傾向にある。	
		・早稲コシヒカリ 草丈：前田部と同様に前年並み(前年比100%) 実数：前田部、芳野町、鹿沼市は前年並を大きく上回ったが、その他の地域は前年並かやや少ない。(前年比97%) 実数：各地で止まりの抽出が始まっている。最終実数は前年より多くなる見込み。 実色：前年より実色の低下が鈍く前年よりやや高い。(前年並+0.1)			
栃木	(生育)	・早稲とちぎの星 草丈：さらに前年よりやや短い、その他の地点では前年並みからやや長い。(前年比102%) 実数：真田町、さくら市で少ないが、宇都宮、農研センターでは前年並かやや上回っている。全体的には前年より多い。(前年比105%) 実色：実色は色はさくら市、宇都宮町で深く、真田町、農研センターで浅く、全体的にはやや濃くなっている。(前年並+0.2)	【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。(気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「たちぎの星」が増加傾向にある。	
		・普通稲とちぎの星 草丈：5月下旬は前年並み(前年比102%)、6月中旬は前年よりかなり長い。(前年比114%) 実数：5月下旬は多く(前年比121%)、6月中旬は少ない。(前年比92%) 実色：前年より0.4減少、やや遅れている。 実色：5月下旬は前年より遅く(前年並+0.3)、6月中旬は前年並み。(前年並±0.0)			

干 葉	(生育状況等)		
新潟	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東甲信地方は7月18日に平年より1日早く梅雨明けし、7月は平年より気温が非常に高く推移した。そのため、出穂が早まり、4月20日繰え「ふさおとめ」の出穂期は7月5日、「ふさかがみ」は7月7日、「コシヒカリ」は7月12日で、平年より4～7日程度早く進んでいる。さらに5月1日繰え「コシヒカリ」の出穂期は7月15日で、平年より9日程度早く進んでいる。</li> <li>・葉色は平年並みからやや濃く、「コシヒカリ」は葉長が長い傾向にある。</li> <li>・成熟期は4月20日繰え「ふさおとめ」が8月7日から、「ふさかがみ」は8月17日から、「コシヒカリ」は8月20日頃から、収穫は非常に早い事が予測される。なお、気象庁の1か月予報では気温が高い見込みで、成熟期が早まる可能性がある。</li> </ul> <p>(千葉県農林水産部 7月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月稲葉枯病、セジロウカ、斑点米病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年並から新品種「穂すけ」の本格栽培が開始</li> </ul>
富山	<p>(7月30日現在の県内全域の生育概況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」は播種量に比べ、草丈は「長い」、茎数は「並」、実数の進みは「やや早い」、葉色は「並」の状況。</li> <li>・「新之助」は播種量に比べ、草丈は「長い」、茎数は「並」、実数の進みは「やや早い」、葉色は「やや濃い」状況。</li> </ul> <p>(新潟県農林水産部 7月31日付)</p> <p>(村上) 「コシヒカリ」の出穂期は平年並～1日程度早い見込み。(村上農業普及指導センター 7月31日付)</p> <p>(魚沼) 「コシヒカリ」の出穂期は5月20日田植えの場合、8月3日頃と見込まれる。(魚沼農業普及指導センター 7月31日付)</p> <p>(南魚沼) 「コシヒカリ」の出穂期は、平年並の見込み。(南魚沼農業普及指導センター 7月25日付)</p> <p>(糸川川) 「コシヒカリ」田植えの早いほうでは、出穂期を迎えている。(糸川川農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(新 潟) 管内の「コシヒカリ」の出穂は8月2日、「新之助」は8月13日と予想している。(新潟農業普及指導センター 7月31日付)</p> <p>(三 条) 地域や播種によって、生育や出穂期に差が生じているため、成熟のバラツキが予想される。(三条農業普及指導センター 8月8日付)</p> <p>(上 陸) 「コシヒカリ」の出穂期は平年並となる見込み(管内平均 8月2日頃) (上陸農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(佐 渡) 早生品種の出穂期は平年に比べ～2日程度早く、収穫適期も平年に比べ3～4日程度早まる見込み。(佐渡農業普及指導センター 8月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月ごま葉枯病、線葉枯病、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ハチエチゼン」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温で品種構成が大きく変化した「てんかく」及び「てんこもり」の導入が注目されている。</li> </ul>
石川	<p>(7月16日 生育観測は)</p> <p>「てんかく」・5月2日移植の「てんかく」の出穂期は、近年より1日遅い7月16日と見込まれる。今後、平年並の気温で推移した場合、成熟期は8月20日頃と見込まれる。</p> <p>「コシヒカリ」・幼穂形成期は、平年に比べ1日早い7月10日となった。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は平年に比べ1日早い7月31日頃と見込まれる。</p> <p>「てんこもり」・幼穂形成期は、平年に比べ2日早い7月10日となった。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は平年に比べ2日早い8月1日頃と見込まれる。</p> <p>(生育) 「富富富」・幼穂形成期は、近年並の7月13日となった。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は近年並の8月4日頃と見込まれる。</p> <p>(富山県農業技術課 7月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月ごま葉枯病、線葉枯病、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ハチエチゼン」を中心とする品種構成であるが、「てんかく」が増加傾向にある。</li> </ul>
福井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハチエチゼン」は平年より出穂が早かったことに加え、高温が続いているため、成熟期は平年より早くなる見込み。</li> <li>・前期乾おび未熟粒の発生が懸念される。</li> </ul> <p>(生育) (水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 8月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月ごま葉枯病、線葉枯病、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ハチエチゼン」を中心とする品種構成であるが、「ハチエチゼン」が増加傾向にある。</li> </ul>
長野	<p>(8月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定点圃場の「あきたこまち」の出穂期は7月21日で、平年より7日早かった。「コシヒカリ」の出穂期は8月1日で、平年より7日早かった。これは定点圃場が出穂が最も早かった令和4年と同じで、定点圃場の調査が始まって以来、最も早い出穂期だった。</li> <li>・生育は平年より7日程度進んでいると思われる。出穂が早まっているため、成熟期も平年よりかなり早まる(昨年並)ことが予想される。</li> </ul> <p>(松本農業農村支センター 8月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「轟さやか」の導入を推進している。</li> </ul>
滋賀	<p>(農業技術振興センター 水稲作況調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作況調査(5月10日移植)の「みずかがみ」「コシヒカリ」では、草丈は平年並～やや長く、茎数はやや少なく、葉色は平年並～やや濃い。</li> <li>・出穂期は、「みずかがみ」が平年より2日早い7月21日、「コシヒカリ」が平年より3日早い7月24日である。</li> <li>・県内全域では、移植日や播種条件による生育に差は見られるものの、平年並～やや早く幼穂形成期および出穂期を迎えている。</li> </ul> <p>(滋賀県農業技術振興センター 7月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大宮管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大宮管区気象台)</p> <p>近畿地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁大宮管区気象台)</p> <p>向こう1か月セジロウカ、斑点米病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温乾燥に強い「みずかがみ」の作付けが推進されている。</li> </ul>
兵庫	<p>(8月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県南部の極早生品種の「キヌヒカリ」、「どんとこい」では、草丈がやや長く、茎数は少ない。高温の影響で生育が進み、出穂は3～5日程度早まる見込みである。一方、普通期の「ヒノヒカリ」、「きぬむすめ」では、草丈は平年並に比べて長く、茎数は「ヒノヒカリ」、「きぬむすめ」ともに多い。主穂実数の進み方も0.9割ほど早い。</li> <li>・県北部では、草丈はやや長く、茎数は少ない。出穂期は「コシヒカリ」で平年より3～7日程度早まっており、地域や播種間での生育差が生じている。</li> </ul> <p>(兵庫県農林水産部 8月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大宮管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大宮管区気象台)</p> <p>近畿地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁大宮管区気象台)</p> <p>向こう1か月セジロウカ、斑点米病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。</li> </ul>
岡山	<p>(生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早生品種は、出穂が平年より早く始まり、茎数は平年並～少ない。</li> <li>・このまま高温傾向が続くと、早生品種の成熟が早まると予想される。</li> <li>・中・晩生品種は、分けつ盛期～幼穂形成期で、茎数は平年並～やや少ない。</li> </ul> <p>(岡山県農林水産部・岡山県農業技術指導者会議 7月23日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「あきさきり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
広島	<p>(生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早生品種は、出穂が平年より早く始まり、茎数は平年並～少ない。</li> <li>・このまま高温傾向が続くと、早生品種の成熟が早まると予想される。</li> <li>・中・晩生品種は、分けつ盛期～幼穂形成期で、茎数は平年並～やや少ない。</li> </ul> <p>(岡山県農林水産部・岡山県農業技術指導者会議 7月23日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月10日～9月9日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「あきさきり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>

	(生育状況等)		
愛 媛	<p>(8月10日現在)「ひめの源」(愛媛県農林水産研究所内水田ほ場)</p> <p>・6月21日移植、移植後50日頃の茎数は28.4本/株で、昨年と同程度。</p> <p>(愛媛県農林水産研究所 8月14日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 8月10日～9月9日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 8月～10月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月のもち病、コブメイガ、ごま葉枯病、結実結露、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、トビロウカ、斑点米ねん、紋枯病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月7日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの源」への品種変更が定着してきている。</p>
高 知	<p>(7月7日)</p> <p>【早期稲】 ・収穫時期は平年並～やや早く、収穫は「南国そだち」は7月19日頃、「よさこい美人」は7月末から始まっており、「コシヒカリ」は8月初旬からの見込みである。</p> <p>【普通期稲】 ・草丈、茎数とも平年並で、全体的に穂ねり間に生育しているが、悪いもちの発生が多く、ずり込み症状が見られるほ場もある。 また、斑点米カメムシ類やトビロウカなど、収穫の大きな要因となる害虫が多く、注意が必要である。</p> <p>(高知県病害虫防除所 8月2日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 8月10日～9月9日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 8月～10月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月のもち病、コブメイガ、ごま葉枯病、結実結露、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、トビロウカ、斑点米ねん、紋枯病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月7日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
福 岡	<p>(7月16日)</p> <p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】 ・4月中下旬植えの出穂期は7月9～15日程度で、平年並。穂長や穂数は、概ね平年並。</p> <p>【普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】 ・6月上旬植えの「夢つくし」は茎数が確保され、中干し時期を迎えている。 ・生育は順調に進んでいるが、ネウミロコガイによる被害が大きいほ場が見られる。トビロウカの初発生が、6月下旬に確認されている。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 7月24日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 8月10日～9月9日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 8月～10月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月のフタオコバヤガ、斑点米ねんの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月7日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」が中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増減ととなっている。費では「夢つくし」の拡大を確実している。</p>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見直し 8月10日～9月9日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 8月～10月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの穂ばら」はリーディング品種として数回の増産拡大している。</p>
宮 崎	<p>(7月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <p>・普通期水稲は分けつ期。</p> <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 7月25日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 8月10日～9月9日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 8月～10月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みさ388」への作付割合が進められている。</p>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見直し 8月10日～9月9日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 8月～10月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は8月19日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：調査及び地方自治体、関係機関等がホームページで公表している資料を本報編集情報部で取り纏め。  
注2：生育状況等(栽培等)発表資料の提供については令和6年8月14日 14時時点での取り纏め。  
注3：掲載内容は必ずしも正しい。

引用資料:

農作物の生育状況(8月1日現在)(北海道農政部 8月6日)、  
農作物生育状況(8月1日現在)(北海道空知総合振興局 8月6日)、  
農作物生育状況(8月1日現在)(北海道石狩総合振興局 8月6日)、  
農作物生育状況(8月1日現在)(北海道後志総合振興局 8月6日)、  
農作物の生育状況(8月1日現在)(北海道胆振総合振興局 8月6日)、  
農作物の生育状況(8月1日現在)(北海道渡島総合振興局 8月6日)、  
農作物の生育状況(8月1日現在)(北海道日高総合振興局 8月6日)、  
農作物の生育状況(8月1日現在)(北海道檜山総合振興局 8月6日)、  
農作物の生育状況(8月1日現在)(北海道上川総合振興局 8月6日)、  
農作物生育状況調査の概要(8月1日現在)(北海道留萌総合振興局 8月6日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況(8月1日現在)(北海道オホーツク総合振興局 8月6日)、  
稲作生産情報高温対策臨時号(青森県 8月9日)、  
岩手県内の水稲の出穂状況(8月8日現在概況速報)について(岩手県農林水産部農業技術普及課 8月9日)、  
令和6年度水稲の出穂状況について(8月8日現在)(宮城県 8月9日)、  
作況ニュース(第6号)(秋田県農林水産部 7月19日)、  
東南村山おしい米づくり情報(山形県村山総合支庁農業技術普及課 8月9日)、  
米づくり技術情報 No.16(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 8月2日)、  
酒田・飽海米づくり情報第11号(山形県庄内総合支庁酒田農業技術普及課 8月7日)、  
主要な農作物の生育情報令和6年度第5号(令和6年8月6日現在)(福島県 8月6日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室 8月9日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 8月2日)、  
水稲生育診断速報2024No.5(栃木県農政部経営技術課 7月26日)、  
水稲の生育状況と当面の対策第5報(千葉県農林水産部 7月26日)、  
水稲の生育状況と今後の管理対策(高温対策臨時号)(新潟県農林水産部 7月31日)、  
R6岩船米生育速報(7月30日現在)(新潟県村上農業普及指導センター 7月31日)、  
高温対策緊急情報No.1(新潟県新潟農業普及指導センター 7月31日)、  
FAX稲作情報No.11(新潟県三条農業普及指導センター 8月8日)、  
コンヒカリ生育情報第6号(新潟県魚沼農業普及指導センター 7月31日)、  
南魚沼産コンヒカリ生育速報No.7(7月24日調査)(新潟県南魚沼農業普及指導センター 7月25日)、  
令和6年度上越地域米コンヒカリ・こしいぶき生育速報No.8(新潟県上越農業普及指導センター 7月30日)、  
令和6年度糸川川売れる米づくりコンヒカリ生育情報No.7(新潟県糸川農業普及指導センター 7月30日)、  
令和6年度稲作生育速報早生収穫期版(新潟県佐渡農業普及指導センター 8月9日)、  
TACS情報第8号(富山県 7月16日)、  
稲作情報No.17(水稲レベルアップ委員会技術普及推進部 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 8月9日)、  
令和6年度作物技術普及情報第15号(松本農業農村支援センター 8月1日)、  
令和6年度稲作生育診断情報No.4(滋賀県農業技術振興センター 7月26日)、  
令和6年度兵庫県農業気象技術情報第4号(8月情報)(兵庫県 8月2日)、  
高温による水稲の品質低下防止対策と病虫害防除の徹底について(岡山県農林水産総合センター・岡山県農業気象技術担当者会議 7月23日)、  
2024年度「ひめの濃」の生育状況(愛媛県農林水産研究所 8月14日)、  
令和6年度病虫害発生予察7月月報(高知県病虫害防除所 8月2日)、  
主な農産物の生産状況(令和6年7月16日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 7月24日)、  
令和6年度病虫害発生予報第4号(宮崎県病虫害防除所・肥料検査センター 7月25日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(8月8日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(8月8日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(8月8日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(8月8日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(8月8日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(8月8日広島地方气象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(8月8日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(8月8日福岡管区气象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(8月8日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(7月23日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(7月23日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(7月23日気象庁)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(7月23日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(7月23日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(7月23日広島地方气象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(7月23日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(7月23日福岡管区气象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(7月23日鹿児島地方气象台)、

早期天候情報(8月13日14時30分)(気象庁)、

エルニーニョ監視速報(No.383)(気象庁 8月9日)、

令和6年度病虫害発生予報第6号(農林水産省 8月7日)、  
令和6年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 8月12日)